

ニュースリリース

GLOBALIS 学び放題、新シリーズ「3分間 AI ロープレ」を提供開始

AIとの音声対話で手軽にアウトプットを繰り返し、学びの定着と実践力向上を支援

株式会社グロービス（本社：東京都千代田区、代表取締役：堀義人）が運営する定額制動画学習サービス「GLOBALIS 学び放題」は、AIとの音声対話でビジネススキルの実践演習ができる新シリーズ「3分間 AI ロープレ」を5月19日より提供を開始します。

本シリーズは、「営業提案」や「交渉」、「評価面談」などの実務シーンを想定し、AIを相手にロールプレイ形式で気軽に繰り返し練習できるコンテンツです。受講者は習得した知識を使いながら、自らの言葉でAIと対話することで、学びを「現場で活かせるスキル」へと定着させることができます。

「GLOBALIS 学び放題」の既存コース視聴後の実践機会としてはもちろん、視聴前であっても自身のスキルの「現在地把握」や「力試し」として活用できます。

これにより従来のeラーニングにおける「学習内容が定着しにくい」という課題に対し、知識のインプットに加え実務に近いシミュレーションでAIとの対話を通じたアウトプット機会を提供することで、学びの定着と実践力向上を支援します。

GLOBALIS 学び放題

3分間 AI ロープレ

AIとの音声対話で

ビジネススキルの腕試しができる

新シリーズ

「3分間 AI ロープレ」提供開始！

■背景

変化の激しいビジネス環境のもと人的資本経営やリスクリングへの注目が高まる中、自ら学び続ける「自律的学習」の重要性が一層高まっています。さらにAIの登場により、AIが単なる情報提供のツールにとどまらず、学習者に伴走する「思考のパートナー」や「実践のパートナー」として学びのプロセスそのものを進化させつつあります。

グロービスではこれまで、最新のAI技術を活用し、効率的かつトレンドに即した学びを提供するために、法人向けeラーニング「eMBA」の「AI対話トレーニング科目」*1や「GLOBALIS 学び放題」において学習の全工程をAIが支援するパーソナルAIパートナー「学びエージェント」*2など、AIを活用した学習体験を提供してきました。一方で、従来のオンライン学習はインプットが主体となりやすく、視聴後に「わかったつもり」の状態に留まってしまう、あるいは実務への応用方法がわからず学習が形骸化するという課題がありました。こうした背景を受け、「GLOBALIS 学び放題」は新シリーズ「3分間AIロープレ」を開発。AIとの音声対話によるアウトプットに対し、独自の指標に基づくフィードバックを組み合わせることで、インプット中心になりがちな学習体験をアウトプット領域へと広げ、学びの定着と実践力の向上を支援します。

「3分間AIロープレ」のシリーズは9コースから提供を開始し、今後も大幅に拡充予定です。

「3分間AIロープレ」は、「GLOBALIS 学び放題」上で短時間で気軽にアウトプットをできるトレーニングである一方、法人向けeラーニング「eMBA」の「AI対話トレーニング」では、より幅広いビジネスシーンを通じて対人スキルを鍛えることを目指しています。今後は「3分間AIロープレ」を利用している受講者が、さらに高度なアウトプットや継続的なトレーニングに取り組むための次のステップとして、「eMBA」の「AI対話トレーニング」を活用できるよう両者の学習体験の連動を進めてまいります。受講者の到達度や目的に応じて、気軽な実践から本格的なトレーニングまで段階的に学べる環境を提供し社会人の成長に貢献します。

*1 参考 プレスリリース：<https://globis.co.jp/news/elearning/12779-2026-03-17/>

*2 参考 プレスリリース：<https://globis.co.jp/news/elearning/12121-2025-11-19/>

■ 「3分間 AI ロープレ」の概要

- ・提供開始日：2026年5月19日
- ・対象：「GLOBIS 学び放題」の個人会員・法人会員
- ・利用料金：既存契約の料金内で利用可能（追加費用なし、受講回数制限あり）

GLOBIS 学び放題 終了する

設問

石井さんの不満に寄り添いながら気づきを引き出し、来期は行動をどう変えるべきかを対話してください。

意識すべきポイント

- 今回の評価に影響を及ぼしたポイントから「何が言えるのか」を対話しましょう
- 「何が言えるのか」がわかったら、それをどう改善するのが対話しましょう

シナリオ

石井さん 部下（若手社員・男性・中途2年目）
自立志向が強く、周囲への相談を自分の力不足と感じ、抱え込みがちな傾向がある。

あなたの立場
石井さんの上司（営業部課長）

状況
金融機関の営業部。あなたは、部下の石井さんと年度末の評価面談で、数値目標が未達のためC評価と伝えた。

問題
石井さんは、見込み案件が役員判断で中断されたことが未達の原因だと、評価に納得していない。



① 文字起こしされたテキストに誤りがあった場合、言い直す必要はなく、そのまま会話を続けてください。AIが役割を間違えた場合、「あなたが〇〇さんですね」とAIの役割名を呼びかけてください。

石井さん、お疲れ様。今期の総合評価はCです。主な理由は、売上目標が最終的に未達だったことです。

……Cですか。正直、納得できません。すでに中の見込みが立っていた案件のプロジェクトが止まったのは役員判断ですよね。あれがなければ達成できていました。

役員判断でプロジェクトが止まったのは大きな影響でした。そこは私も同じ認識です。

それなのにCというのは、少し厳しすぎる気がします。

そう感じますよね。一つ聞かせてください。石井さん自身は、今回の結果をどう捉えていますか？

正直、外部要因が大きかったと思っています。

残り 3:00

受講画面のイメージ

■本シリーズの特徴

1.1 回3分のロールプレイで主観的になりがちなコミュニケーションを客観的に評価・フィードバック

本シリーズは、(1) 設定を紹介する動画視聴 (2) 3分間の AI ロールプレイ (3) 評価・フィードバックの3ステップで完結します。受講者は、自身の発話内容に対し、独自の指標に基づいた客観的なフィードバックを得られます。さらにロールプレイで活用する知識・スキルが学べる「GLOBIS 学び放題」内のコースをレコメンド。学ぶべき内容が明確になり、迷うことなく次の学習ステップへ進むことが可能です。

良かったポイント

- ✓ 影響の同意ができた
「ああ、そうですね。役員判断で止まったのはすごく大きな影響だったなと思います。ちなみにどうしてあれになったんだと思いますか？」
相手の認識している影響の大きさに同意し、会話の前提を揃えられていました。そのうえで相手の見立てを言語化する方向へ自然に進められています。
- ✓ 評価理由を明確に伝えた
「本期の総合評価はCです。売上目標が最終的に未達でした。」
評価をはっきり伝えたくて、根拠を事実に基づいて述べられていました。感情論になりにくく、落ち着いた振り返りにつながっています。

改善ポイント 解説もチェックしてみましょう

- ✓ 不安の意味づけが未完
「途中で話が進まなくなって、正直不安は感じてました。」
相手の「不安」をSo what（それは何を意味するのか）へ掘り下げる段階が不足しています。次の問いを加えると会話が深まります。
再現するなら、次のように続けてみてください。
・「不安を感じたとき、石井さんは具体的にどんな対応をしようと思っていましたか？」
- ✓ 次の行動につながる問いが不足
評価理由の共有で止まっているため、「では今後どう変えるか」へつなぐ問いを入れると、会話が改善計画に結びつきやすくなります。

実践ポイント

- ✓ So what→来期の行動をつなげる
使う場面：出来事（未達の理由）を確認できた後。
やること：「それは何を意味していたのか（自分の動きのどこに影響があったか）」を振り返らせ、そのまま来期の行動に落とし込みます。
会話例：“その状況が起きたとき、次は何を変えるかと立て直しを早くできますか？”
- ✓ 評価後に“気づき質問”を1つ入れる
使う場面：評価（Cなど）と理由を伝えた直後に。
やること：相手の受け止めを一言で引き出し、「何が起きていたと感じるか」を本人の言葉で語ってもらいます。
会話例：“今の評価と理由を聞いて、石井さんは一番引っかかっている点はどこですか？”

もっと学ぶためのコース

実践！メンバーの成長を促すフィードバック

フィードバックを行う際におさえておく良いポイントを、わかりやすく学べます。

▲ 組織マネジメント ▲ 中級

フィードバック画面のイメージ

2. インプットとアウトプットを切り分けた柔軟な学習設計で学習効率を最大化

「GLOBIS 学び放題」がこれまで提供してきた知識習得のためのコースと、本シリーズによるアウトプットのためのコースをそれぞれ独立させて提供します。これにより、個人の習熟度に合わせて必要なステップだけを選択できるため、学習時間を有効に活用しながら効率的に学ぶことができます。既存の「GLOBIS 学び放題」のコースで知識をインプットした後の実践機会としてはもちろん、コース視聴前であっても自身のスキルの「現在地把握」や「力試し」として活用が可能です。

3. 「学びエージェント」と組み合わせることで、学習体験を深化

「3分間 AI ロープレ」とパーソナル AI パートナー「学びエージェント」が提供する思考を深める対話機能を組み合わせることで、学習体験がより深化します。「学びエージェント」による理論の解釈や活用のアドバイスを受けた後に「3分間 AI ロープレ」を実践するという流れはもちろん、「3分間 AI ロープレ」での気づきや疑問を「学びエージェント」との対話を通じて解消することも可能です。

■ 「交渉」をテーマにしたコース例

「無茶な要求に負けない! 『お互いハッピー』の交渉術

「相手の勢いに押されて、つい無茶な要求を飲んでしまう…」こうした状況を想定し、手強い取引先役の AI と対話します。ネゴシエーション関連*3の動画で学べる交渉の定石を活用しながら、双方が納得できる着地点をロールプレイを通じて模索します。「NO とわずに代替案を出す」コツを身につけられるコースです。



*3 「ネゴシエーションスキル（基本編）」で学べる知識・スキルを基に、ロールプレイの評価が行われます。

URL : <https://globis.jp/courses/095d8e49/>

◆GLOBALIS 学び放題

GLOBALIS

学び放題

個人向けサービス : <https://globis.jp/unlimited/>

法人向けサービス : <https://gce.globis.co.jp/service/hodai/>

「GLOBALIS 学び放題」は、グロービスがこれまでビジネススクールや企業研修、出版事業を通じて培った、良質な経営教育のコンテンツやビジネストレンドを、スマートフォンや PC など利用シーンに合わせたデバイスで、いつでもどこでも好きなだけ学習することができるサービスです。ビジネスに必要とされる体系的な知識を、4,700 コース、19,900 本以上の動画に収録、2026 年 4 月時点で累計受講者 ID 数は約 140 万以上に成長しています。動画は 1 本あたり 3 分程度で構成しており、隙間時間に手軽に学習することが可能。

◆グロービス (<https://globis.co.jp>)

グロービスは1992年の設立以来、「経営に関するヒト・カネ・チエの生態系を創り、社会の創造と変革を行う」ことをビジョンに掲げ、各種事業を展開してまいりました。「ヒト」の面では、グロービス経営大学院に加え、スクール型研修や集合研修など法人向け人材育成サービスを展開するグロービス・コーポレート・エデュケーション、eラーニングや定額制動画学習サービス「GLOBIS 学び放題」などを提供するグロービス・デジタル・プラットフォームにより、リーダーの育成を推進しています。「カネ」の面では、ベンチャー企業への投資・育成を行うベンチャー・キャピタル「グロービス・キャピタル・パートナーズ」を運営、「チエ」の面では、出版事業ならびにオウンドメディア「GLOBIS 学び放題×知見録」を通じて知の発信を行っています。さらに社会における創造と変革を促進するため、一般社団法人 G1 によるカンファレンス運営、一般財団法人 KIBOW による震災復興支援および社会的インパクト投資などの活動を展開しています。

グロービス:

学校法人 グロービス経営大学院

・日本語(東京、大阪、名古屋、福岡、オンライン)／英語(東京、オンライン)

株式会社 グロービス

- ・グロービス・エグゼクティブ・スクール
- ・グロービス・マネジメント・スクール
- ・企業研修
- ・出版／電子出版
- ・「GLOBIS 学び放題×知見録」／「GLOBIS Insights」
- ・「GLOBIS 学び放題」／「GLOBIS Unlimited」

グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社

顧彼思(上海)企業管理諮詢有限公司

GLOBIS Asia Pacific Pte. Ltd.

GLOBIS Asia Campus Pte. Ltd.

GLOBIS Thailand Co., Ltd.

GLOBIS USA, Inc.

GLOBIS Europe BV

GLOBIS Manila Inc.

PT. GLOBIS Indonesia Hub

その他の活動:

- ・一般社団法人 G1
- ・一般財団法人 KIBOW
- ・株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント
- ・株式会社 LuckyFM 茨城放送

【取材に関するお問い合わせ先】

グロービス 広報室 担当: 土橋涼、杉田友紀

E-MAIL: pr-info@globis.com